

2018年1月理事会議事録

日 時：2018年1月27日（土）14：00～18：10

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・大島直行・小笠原永隆・岡山真知子・小澤正人・瓦吹 堅
・久保田正寿・佐々木和博・佐々木憲一・篠原和大・杉井 健・関根達人・都築
恵美子・橋本裕行・堀内秀樹・宮本一夫・長瀬 衛、監事：唐澤至朗、（事務局
：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：石川日出志・岡内三眞・菊池誠一・佐藤宏之・新納 泉・矢島國雄・吉田哲夫

進 行：橋本裕行

議 長：谷川章雄

橋本理事から、本日の出席者は19名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

橋本理事から、東京都の肥田順一会員が2014年11月、東京都の浅野信英会員が2017年3月21日、東京都の辻本崇夫会員が11月18日、岡山県の間壁忠彦会員が12月28日、東京都の中村宜博会員が2018年1月21日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第450号 第84回（2018年度）総会議案について

小澤理事から、2017年10月理事会議案第446号で承認された総会議事次第の構成に合わせて作成した第84回総会議題案の審議事項並びに報告事項の説明があり、一部修正の上、承認した。

議案第451号 2018年度予算（案）について

都築理事から、2018年度の収入見込み額に対し、各委員会から提出された予算要求額が上回っていることが報告され、担当理事に増額理由についての説明が求められた。今後、2017年度の支出状況等を踏まえて検討・調整し、3月の理事会に予算案を提出するとの説明があった。続けて、近藤副会長から、総会・大会での委員会開催などによる旅費の削減への協力が要請された。

議案第452号 永年在籍会員の表彰について

小澤理事から、2017年9月理事会議案第435号で承認された永年在籍会員の表彰者について、逝去や退会希望に伴い71名となった旨の説明があり、該当者への第84回総会における表彰式の案内送付を承認した。

議案第453号 日本考古学協会規則の一部改正について

小澤理事から、議案第452号の永年在籍会員の表彰に当たって根拠となる規程の整備が必要であるとの指摘があり、現在の日本考古学協会規則の顕彰条項が日本考古学協会賞に

限定されていることから、日本考古学協会規則「第9章 会員の顕彰」について改正案が提示された。主な改正点としては、現行の第34条を第33条の2とし、第34条を「本会の発展に寄与した会員の業績に対し、別に定める内規に基づき顕彰することができる。」と修正するとの説明があり、原案通り承認した。

議案第454号 会員の顕彰に関する内規について

小澤理事から、議案第453号で承認された改正後の日本考古学協会規則第34条に基づく「会員の顕彰に関する内規（案）」が提示された。顕彰の対象者や選考方法などと共に、2017年9月理事会議案第435号で承認された永年在籍者に「シニア・フェロー」の称号を与えることを明記するとの説明があり、原案を一部修正の上、承認した。なお、運用に関してはその都度検討することとした。

議案第455号 名誉会員の推薦について

石川副会長に代わり橋本理事から、関連する議案第456号と一括して説明があった。①2015年7月理事会議案第288号で設置が承認された名誉会員選考委員会及び設置に伴う名誉会員選考委員会内規について、名誉会員に関する規定に不備が認められたため、「名誉会員に関する規定」第2条を修正し、日本考古学協会名誉会員選考委員会を規定した。②1月27日（土）午前中に名誉会員選考委員会を開催し、「名誉会員に関する規定・内規」に基づき、70周年記念事業における永年在籍会員表彰者のうち、会長経験者である大塚初重会員を名誉会員に推薦するとの説明があり、審議の結果、原案通り承認し、総会に諮ることとする。

議案第456号 名誉会員に関する規定の一部改正について

橋本理事から、名誉会員選考委員会を開催するに当たり、「名誉会員に関する規定」第2条を修正し、名誉会員の選考を日本考古学協会名誉会員選考委員会で行い理事会に推薦すること、また名誉会員選考委員会内規について明示した改正案が説明され、原案通り承認した。

議案第457号 賛助会員の承認について

久保田理事から、2018年度新入賛助会員の申込みは、法人会員3件、フレンドシップ会員16名、学生会員17名の申込総数3団体・33名であり、2017年12月9日（土）に開催された入会資格審査委員会では申込者について特段の意見はなかったとの報告があった。審議の結果、全申込者について入会資格を承認し、総会に諮ることとした。なお、法人会員については3月上旬に全正会員に名簿を送付する。また、入会資格審査委員会からの賛助会員の入会基準に対する意見等については、今後の推移を鑑みて検討することとした。

議案第458号 監事の選任について

近藤副会長から、第84回総会において3人目の監事を選任し、新たな監事が選任された後に、現在の監事の内1名が退任し2名体制とする予定である。監事2名の選任時期を交互にすることにより円滑な組織運営を目指すとの説明があった。

議案第459号 退会の承認について

久保田理事から、青森県の*会員、岩手県の*会員、宮城県の*会員、群馬県の*会員、千葉県の*会員、東京都の*会員、神奈川県*の*会員・*会員、富山県の*会員・*会員、長野県の*会員、静岡県*の*会員、愛知県の*会員、京都府*の*会員・*会員、大阪府*の*会員・*会員・*会員・*会員、奈良県の*会員、和歌山県の*会員、香川県の*会員、佐賀県の*会員・*会員、鹿児島県の*会員、海外*の*会員の計26名から2017年度をもつての退会届、奈良県の*会員からは2018年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

議案第460号 文化審議会の答申について

近藤副会長から、文化審議会文化財分科会企画調査会における文化財保護法の改正に関わる検討について、12月8日に「文化財の確実な継承に向けたこれからの時代にふさわしい保存と活用の在り方について（第一次答申）」が公表された。これを受けて、9月28日付で提出した「中間まとめ」に関するパブリックコメントと同様な考え方に基づく意見を埋蔵文化財保護対策委員会で作成し、会報や公式サイトへ掲載したいとの説明があった。審議の結果、文案については修正した上で、協会として意見表明することを承認した。

報告第603号 第84回総会について

岡山理事から、第84回総会内容の報告があり、第1日目は総会と公開講演会、第2日目は口頭発表3会場33件、セッション6会場11件、ポスターセッション33件、高校生ポスターセッション12件であることが説明された。続けて、第84回総会実行委員会の佐々木憲一理事から会場等について補足説明があり、了承した。

報告第604号 2018年度新入会員入会資格審査報告

瓦吹理事から、2017年12月9日（土）に第1回入会資格審査委員会を開催し、委員長に篠原祐一会員、副委員長に上敷領久会員を選出し、2018年度新入正会員の資格審査、及び賛助会員の予備審査を行った。①正会員については、審査の結果、申込総数49名のうち、資格基準を満たす者46名、3名が業績不足及び考古学の方法論に基づいていないため該当しないと判断された。よって、2018年度新入会員資格基準該当者は46名となり、3月上旬に全会員に名簿を送付する。②賛助会員については、法人会員3件、フレンドシップ会員16名、学生会員17名の申込のうち、特に意見のある申込者はなく、その旨を理事会に報告することとしたとの報告があり、了承した。

報告第605号 協会設立70周年記念事業小委員会報告

小澤理事から、①公開講演会について、2018年度は登呂遺跡と加曽利貝塚で行う予定で進めている。②学術刊行物『日本考古学・最前線』及び機関誌『日本考古学』70周年記念号について、刊行スケジュール及びそれぞれ執筆依頼を行った旨が説明され、了承した。

報告第606号 将来構想検討小委員会報告

近藤副会長から、2017年12月24日（日）に小委員会を開催し、①総会における会費納付

について、近い将来的に現金を扱わない方向性で検討した。②総大会における会場費（参加費）について、現状及び実施する場合の課題の把握を行った。③総大会時の配布冊子の着払いについて協議した。④会員減少に伴う収入減による委員会開催経費について検討を行ったとの報告があり、了承した。

報告第607号 会費徴収および参加費についてのワーキンググループ報告

小澤理事から、1月18日（金）にワーキンググループを開催し、①総会での会費納入を実施しない場合の運営資金不足防止として、前納人数を増やす方を協議した。対応策としては、会費納入の利便性を上げるために、現在の郵便振替口座への振込に加えて、振込手数料は会員負担となるものの銀行振込を加える等その他の会費納入方法の実現可能性について検討した。②総大会における参加費徴収案について、現状の把握と多岐にわたる検討課題が確認されたとの報告があり、了承した。

続けて、谷川会長・近藤副会長から補足説明があり、①については、できるだけ早期に総会時の現金による会費納入を取り止める方向性で進めたいとの方針が示された。

報告第608号 『日本考古学年報』に関するアンケートについて

小笠原理事から、『日本考古学年報』に関するアンケートについて、回答者の個別意見が提示された。集計結果からは早急に現状を変更する必要性は認められないものの、WEB掲載及びその際の冊子の必要性については、冊子要望が一定量あるもののWEB掲載のみで良いとの意見も40代以下を中心に以前より増加しており、経過観察が必要であるとの説明があり、了承した。

報告第609号 著作権規定の運用について

篠原理事から、各刊行物における著作権譲渡承諾書の提出時期についての確認が行われると共に、著作権規定施行以前の刊行物に対する転載申請への対応について事例報告があった。また、著作権規定を確認したところ、様式の整備が必要であるとの説明があり、著作権規定の施行以降これまでに判明した運用面での問題点が確認された。

報告第610号 沼津市「高尾山古墳」の保存問題について

篠原理事から、2015年5月22日付けで会長声明を発出した沼津市高尾山古墳の保存問題について、沼津市において、有識者による道路と古墳の両立に関する協議会で取りまとめられた6つの整備案のうち、古墳の東側と西側にそれぞれ道路を通すH案が選定され、古墳の保存が図られる見通しであるとの説明があり、了承した。

報告第611号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

小笠原理事から、2017年12月16日（土）及び2018年1月21日（日）に委員会を開催し、①近代日本最初の西洋式医学校である長崎市小島療養所関連遺構について、学校建設計画が進んでいることから、2017年12月12日付で保存要望書を提出した。長崎県教育委員会及び長崎市議会から2017年12月21日付で、2018年1月17日付で長崎市から回答があった。②新潟県柏崎市西岩野遺跡について、県内初の弥生時代後期の大型掘立柱建物等が検出され

ており、引き続き情報収集等を行い注視していく。③奈良県奈良市登大路瓦窯跡群について、以前の調査で埋め戻し保存としていたところ、新たな開発計画により発掘調査での記録保存とする方針となったことから、2018年1月12日付で保存要望書を提出し、奈良県から1月24日付で回答があった。④茨城県坂東市神明遺跡について、十分な調査が行われない上での開発が危惧されることから経過を注視すると共に、関係機関との面談を実施する予定である。⑤沼津市高尾山古墳の保存問題について、整備案の決定を受けて今後の対応を検討していくとの報告があり、了承した。続けて、橋本理事から③奈良市登大路瓦窯跡群について経過の補足説明があり、現地情報を把握した要望内容とすることが求められた。

報告第612号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、2017年9月24日（日）及び12月3日（日）に委員会を開催し、①文部科学省のホームページに設置された教科書に関する意見提出窓口、教科書に旧石器の記述を求める要望書を提出する検討を行い、提出の準備中である。②2017年度宮崎大会でのポスターセッションについて9月に検討し、12月の委員会では総括を行った。③2018年度第84回総会において開催予定のセッションについて、内容・発表者を協議したとの報告があり、了承した。

報告第613号 陵墓報告

杉井理事から、①立会調査見学が2017年12月7日（木）に淡輪ニサンザイ古墳（宇度墓）で実施され、10学協会13名が参加し、当会からは杉井理事が参加した。また、2017年12月22日（金）に佐紀陵山古墳（日葉酢媛陵）附属地で実施され、14学協会22名が参加、当会からは新納理事が参加した。②本年度の立入り観察についても準備を進めていることが報告され、了承した。

報告第614号 国際交流委員会報告

佐々木憲一理事から、2018年1月20日（土）に明治大学において、「アジアの煌めきーガラスが結ぶアジアの東西ー」をテーマに第11回アジア考古学四学会合同講演会を開催し、179名の参加を得たとの報告があり、了承した。

報告第615号 広報委員会報告

大島理事から、2017年12月9日（土）に委員会を開催し、公式サイトコンテンツ充実に向けて、理事及び委員会へアンケートを実施することとなり、各理事に回答の協力が求められた。

報告第616号 会費高額滞納者について

都築理事から、3万円の高額滞納者45名の報告があり、各理事が分担して督促に当たることとなった。

報告第617号 研究環境検討委員会報告

堀内理事から、2017年11月4日（土）に委員会を開催し、①埋蔵文化財保護行政に関わ

る職員の採用動向に関するアンケートについて、2018年度第84回総会において速報値を提示する予定である。②「認定考古士」について、現状の資格制度や運営に当たっての課題について意見交換を行ったとの報告があり、了承した。

報告第618号 理事選挙管理委員会報告

佐々木和博理事から、①2017年11月4日（土）に第1回理事選挙管理委員会を開催し、委員長に荒井秀規会員、副委員長に市川 修会員を選出して、今後の日程並びに選挙告示内容の確認を行った。②立候補及び候補者推薦のチラシ、並びに投票呼びかけの広報チラシを作成することとし、会員の積極的な参加を呼びかけるためにそれぞれ文言の追加やデザインの変更について検討したとの報告があり、了承した。

その他

（1）刊行物発送に係る事務処理の軽減について

長瀬事務局長から、総会・大会時の配布冊子の送付について、会員への確実な刊行物の配布と、各会員への連絡に伴う事務処理の軽減に伴い、転居先不明や保管期間満了で事務所に返送される刊行物は、ゆうメールよりやや高額になるが原則的には宅配便での送付とするとの説明があった。

（2）後援依頼について

日本西アジア考古学会並びに第25回西アジア発掘調査報告会実行委員会から「第25回西アジア発掘調査報告会」の後援依頼があり、名義の使用を承認した。

以 上